

いざ発たん 素志貫く旅へ 培った知性・徳性を誇りに



第43回卒業式挙行政
卒業生 246名



國學院大學
栃木短期大学
栃木市平井町608
〒328-8588
TEL0282-22-5511
FAX0282-22-5743
編集 学報編集部

第165号

春あさき光りのなかに
別れ行く 明けきこゑの
坂に こだます
『山毛櫛の叢』以後 千勝三喜男



▲総代に卒業証書を授与する中村幸弘
学長
▲開式を前に40周年記念館前で卒業を
喜び合う卒業生
(写真はいずれも第42回卒業式より)

第43回卒業式は、3月18日
午前10時30分より学園40周年
記念館を式場として来賓・教
職員・ご父母が列席し、厳肅
且つ盛大に執り行われる。
式は、国歌斉唱ではじまり、
中村幸弘学長から各学科の総
代に卒業証書が授与される。

総代をつとめるのは、国文学科は齊藤真美さん、家政学科は吉川苑子さん、初等教育学科は島田麻理恵さん、日本史学科は三嶋紋佳さん、商学科は平形香名さんである。

中村学長告辞、木村好成学園理事長祝辞につづき、福田富一栃木県知事、本学同窓会「斯花会」を代表し、第8期国文学科卒業前橋(旧姓笹井)陽子さんより来賓祝辞をいただく。

在学生を代表し、中村伸子新学生会長(家政学科1年)が送辞を述べ、これに応えて卒業生を代表し、国文学科齋藤愛美さんが答辞を述べる。「仰げば尊し」を合唱し、卒業生よりの記念品目録が高橋翼前学生会長から中村学長に手渡される。最後に校歌斉唱、「蛍の光」を合唱して式を閉じる。

式終了後、各クラス担任から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、喜びを胸に学舎を巣立っていく。

佐々木賞を六名に授与

この賞は、佐々木周二学園長記念奨学金制度を基に作られたもので、各学科の成績・人物ともに優秀な者に、賞状とブロンズ像(二科会員・鷲崎直子本学教授制作)が授与される。受賞者は次の通り。

第43期卒業生数		
()内は第1期生より通算		
国文学科	67名	(7,119)
家政学科	56名	(4,601)
初等教育学科	33名	(6,217)
日本史学科	52名	(2,265)
商学	38名	(1,983)
総数	246名	(22,185)

- 国文学科 齋藤 愛美
- 国文学科 齊藤 真美
- 家政学科 吉川 苑子
- 初等教育学科 島田麻理恵
- 日本史学科 三嶋 紋佳
- 商学 科 平形 香名